固定価格買取スタート後の新たな２大市民出資の取り組み

1.太陽光、ペレットへの市民出資「地域MEGAおひさまファンド」

おひさま進歩エネルギー株式会社（本社 長野県飯田市，代表取締役 原亮弘）は、２０１２年まで５年連続で市民出資事業を実施してまいりました。今年は固定価格買取制度の施行に伴い、各地との連携により新たな市民出資、「地域MEGAおひさまファンド」の募集を開始しました。当社にとって６つ目のこの出資は、現在募集３カ月で２５０名より約２．５億円の【意志あるお金】が集まってきています。過去のファンド５つも順調に運用しています。

おひさま進歩エネルギー株式会社（担当 谷口）
http://www.ohisama-energy.co.jp/
【募集窓口】
おひさまエネルギーファンド株式会社
http://www.ohisama-fund.jp/

2.初の産・官・学・地域連携！地場産品配当の「環境維新ファンド さつま自然エネルギー」

１０月より鹿児島県のいちき串木野市が、市役所、私立学校、商工会、工業団地、などを巻き込んで、新たな市民出資の形を創りだしました。この市民出資は１．５億円の募集で、一口３０万の１０年間、出資の配当を現金だけでなく現物で２％計画しています。地元産物を使うことで額面の配当以上のメリットを出せるように地域をあげての企業が集い、この出資を創りだしました。

合同会社さつま自然エネルギー（担当 漆原）
http://www.satsuma-ne.co.jp/
【募集窓口】
株式会社パスポート
http://www.passport-net.co.jp/fund/satsuma/

3.日本で起こってきた市民出資の歴史と実績、おひさまファンドの歩みについて、本を出しました。
http://www.ohisama-energy.co.jp/cn50/pg420.html

Generated by ぷれりりプレスリリース
https://www.prerele.com